

教 科	国 語	科 目	現代文B	単位数	3 単位
学 科	全学科	学 年	3 学年	コース	
学習目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深くし、人生を豊かにする態度を養う。また、基本的な国語の能力、進んで読書をしたり表現したりする態度も養う。				
学習内容	学習項目		評価規準【評価の観点】		
	1 若い人たちへ 夢を建てる人びと		・筆者の「人間」や「文化」に対する考え方を読み取っている。【A・E・D】 ・筆者の生き方、考え方に触れ、自らの生き方に対する思索を深めることができる。【B・C】		
	2 伝統を受け継ぐ ひかりのどけき春の日に －日本人と桜 和の思想、間の文化 (問題演習)		・表現の面白さ、特異な発想、卓抜な批評精神を読み味わおうとしている。【D・E】 ・日本の伝統的な美意識や、「和」や「間」などの、日本文化に底通する独特な感性について考えを深めようとしている。【A・E】 ・自主的に問題を解く態度を身に付けている。 【D・E】		
	3 短歌・俳句に親しむ		・短歌・俳句の特色を理解し、鑑賞する態度・方法を理解している。【B・D・E】 ・自分を取り巻く自然や生活を見つめ、想像力・感受性を豊かにしようとしている。【A・C】		
	4 社会に生きる 鉄を削る		・筆者の展開の仕方を理解し、読み取りのポイントを押さえることができる。【D・E】 ・筆者の問題意識を受け止め、自己の在り方について見つめ直すことができる。【A・D・E】 ・仕事と人生について考えを深め、文章にまとめることができる。【C】		
	5 名作を読む（二） こころ		・登場人物の心情の変化を把握し、登場人物の人物像を読み取り、作品の主題を考えようとしている。 【D・E】 ・文章表現の豊かさを味わい、「人間」について考えようとしている。【A・C・D】		
	6 現代を考える 家族化するペット (問題演習)		・文章の構成、論の展開を把握し、筆者の主張を的確に読み取ることができる。【D・E】 ・現代社会の問題を意識的に考えようとしている。 【A・B】 ・自主的に問題を解く態度を身に付けている。 【D・E】		
評価の観点	【A】関心・意欲・態度 【B】話す・聞く能力 【C】書く能力 【D】読む能力 【E】知識・理解				
評価方法	定期考査、小テスト、出席状況、課題及び提出物、授業態度や意欲による総合評価				
教科書等	新編現代文B 改訂版（大修館書店）				
備 考	2・3学年の継続履修。2学年で第Ⅰ章、3学年で第Ⅱ章を学習する。				

※評価規準は、学習の到達目標でもあります。